

# 新潟市広報検討会議 新潟大学学生ワークショップまとめ

## ● 概 要

### 1. 目 的

学生視点での「新潟市の魅力」や「効果的な情報発信の方法」を把握し、会議内でのより良い検討の参考とする。

### 2. 日 時

平成 29 年 6 月 7 日（水） 12 時 55 分～14 時 25 分（講義「マーケティング論Ⅱ」内において実施）

### 3. 会 場

新潟大学 五十嵐キャンパス

### 4. 参加学生数

25 名（6 班）

### 5. テーマ

#### 「友達にも広めたい！新潟市の魅力とその発信方法を考える」

・友達（同世代の若者）に新潟市の良いところを伝えるとしたら、どのようなことや場所を伝えたいか

黄色付箋

・その魅力をより多くの若者に発信する（広める）には、どのような発信媒体・方法が有効か

黄緑付箋

### 6. 全体スケジュール

12:55 開会あいさつ（加藤課長）

13:00 ワークショップ進め方説明

13:05 各班に分かれてグループワーク

14:05 発表（1 班につき 2 分 30 秒）

14:20 まとめ（加藤課長、長尾先生）

14:25 閉会

### 7. ワークショップの様子



●ワークショップの結果

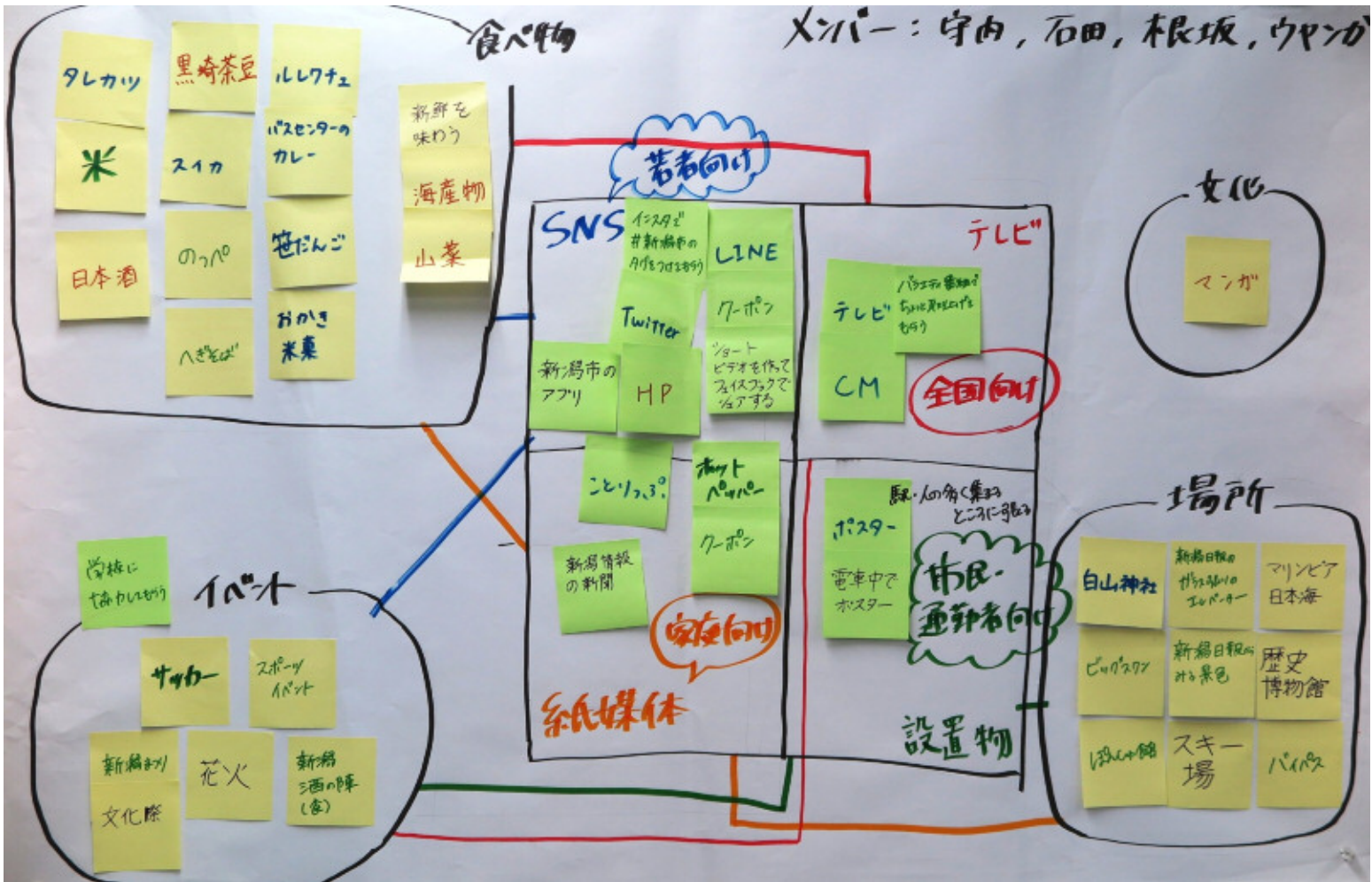
1班



【発表の要旨】

・私たちの班は、魅力のカテゴリを風景、食べ物、お店、場所、特徴、人物、イベントの7つに分類しました。緑色の付箋に、これらの情報を発信する媒体を記載しましたが、全カテゴリを発信する媒体として、「**インスタ**」を特徴とするSNS、**アプリの作成**、**ネットの広告**をあげました。

- ・アプリは新潟市を特徴としたアプリを作り、新潟市のイベントや他のカテゴリの情報などを発信していくということです。
- ・VRについては最近インスタの上に行く存在だと考えまして、バーチャルで風景やイベントを県外の人や年配の人など、普段そこに行けない人が体験し、興味を持っていただくことで、直接行きたいと思ってもらえるのではないかと思います。
- ・アナログなポスターなどは、イベントなどで元々新潟市に興味があつて来てもらった人に、もっと新潟に関心を持ってもらいたいと思い、バスの乗り場や駅などに設置するという方法を考えました。
- ・アプリをGPS連動にして、開いたときに自分がどこにいるのか、そしてその近くにどんなお店やどんな風景があるのかを表示して、いわゆる「ポケモンGO」や「イングレス（拡張現実技術を用いた位置情報ゲーム）」といった方式にして、インスタでヒットしている作品や口コミなどを表示し、新潟市にいる人や県外から来た人に町の中を歩かせるように企画すれば、もっと興味を持ってもらえるのではないかと思います。



**【発表の要旨】**

・魅力のグループを食べ物、イベント、場所、文化の4つに分けて、発信方法もSNS、紙媒体、設置物、テレビの4つに分けました。それぞれの媒体が、どの魅力に一番影響が強いかを色分けして線を引いています。

・SNSは主に若者向け、紙媒体の新潟情報誌などは家庭向け、駅や人の多く集まる場所に貼ったり、電車内とかのポスターは市民・通勤者向け、テレビを全国向けとして考えました。

・私たちのグループでは、新潟の魅力は場所や食べ物がたくさん出ました。特に食べ物について私は実家が県外にあり、親に「お土産に何がほしい」と聞いたら、「バスセンターのカレー」がテレビで取り上げられていたようで、テレビを見てこれを食べてみたいと思う人達がいるみたいなので、紙媒体は市内向けですが、SNSやテレビなど全国向けの方が新潟の魅力をアピールするには有効なのではないかと思いました。

・私も富山県出身ですが、初めて新潟市のマラソンの「エンジョイラン」に参加した時にすごく楽しくて、富山にはないイベントだったので、新潟市はスポーツが盛んなところをもっと発信していってほしいと思います。エンジョイランは仮装しながら走ったりと、他県にはないイベントだと思うので、SNSなどで仮装している写真を載せてタグ付けすることで、同年代の他の人などに行きたいと思ってもらえると思うので、もっとこういうイベントをSNSで発信していけるといいと思います。



### 【発表の要旨】

- ・魅力はグルメ、古町、観光地、グループでアルビや NGT、イベントで「音髭」や酒の陣、お菓子で各企業に分類しました。
- ・発信方法はアナログの広告、デジタルで SNS とバス内の電光掲示板やテレビの CM などで分類しました。
- ・お菓子の企業は企業努力で、グループはグループ内の努力だと思いますが、観光地はグループで CM などで一緒に出てもらったりすることで広告になるのではないかと思います。イベントの音髭や酒の陣は全国的に有名だと思うので、デジタルの CM、新幹線など県外の人にわかってもらうようにしたらもっと県外から来ると思います。
- ・古町とグルメでは、インスタなどでタグ付けをしたら、店の方からクーポンや特典を出すようにすると、若者向けの広告になるのではと思いました。
- ・「LINE で新潟市のアカウントを作成し会話機能を作る」について、例えば、おいしい物が食べたいと思ったら、新潟市のアカウント内で「食べ物」と打ったら食べ物の種類、「お肉系が食べたい」と打ったら、お肉系の情報が返ってくるといった **会話機能を付けることで観光の PR になる**と思いました。  
LINE では会話がすべて新潟弁で、しりとりをやろうとすると、しりとの返しですべて新潟に関連したもので返してくることで、新潟の知識を得てもらうということと、たとえば 20 回続いたらクーポンゲットとしてもらえれば、観光するときに利用してもらえるのではないかと思います。

澤田・島田・楓・弘樹

# オススメラーメン15選!!

~~~~~

## ラーメン

かやま  
ラーメン

とうよこ  
東横

あ  
しや

たんた  
ん

み  
は

いのや

たじや

とうせん屋

しがら

まりもろ

ま、くしや

ふうて  
ん

いこうや

万人

こまじ

110

やいざぎ NGT48

ラブラス代

らんこ

新集苑

アムビレ  
クス新潟

カレー  
がおいしい

ロフト  
山形

酒・陣

ブライカ

らやん

百町

まじや

びんぼう  
ふし

田舎  
おじい

ぼんらん

お茶  
お前

新島屋  
山形

らやん  
山形

ビバアメン

ホッパ

たけ  
ん

さや  
やん

すす  
TV

らやん  
イベント

インスタ

Hika  
Kih  
TV

ターゲット  
県内キッズ・親  
高校生・大学生

発信媒体

★YouTube (ヒキキん、セキキん、すすTV) <sup>430万人</sup> <sup>230万人</sup> <sup>155万人</sup>

★インスタ (毎日1つ) 写真 アカウト

★イベント (市内ラーメンイベント)

★大学

★フリーペーパー (クーポン)

★アプリ

### 【発表の要旨】

- ・友達に広めたい魅力ということで一番最初に何を勧めたいかと考えたときに、ひたすらラーメン店が出まして、若者はラーメンが好きだろうということで、ラーメンという大きなくりを作りました。それ以外は右上に置いておくことにしました。
- ・発信するターゲットとしては県内の若者たち、私たちの世代である大学生・高校生をターゲットにしました。発信媒体として第1に推していきたいのは、**私たちがよく見るのは「YouTube」なので**、新潟県出身の有名な「**ユーチューバー**」のヒカキンさん、セキキんさんを使って広めていくと、彼らのチャンネル登録者の430万人と230万人につながります。
- ・有名な「すするTV」というYouTubeのアカウントがあり、そこに新潟に来てもらって新潟のラーメンを発信してもらう。また、**インスタ**のアカウントを制作して、毎日一つ写真を載せて**ビジュアル**で広報していく。あとはイベントです。新潟市内で肉フェスのようなイベントをして、ヒカキンさんなどを呼んで広報していけば広まると思います。
- ・あとは大学生・高校生をターゲットにするので、例えば、新潟大学内のローソンなどに設置したフリーペーパーに、割引券などを付けてラーメンの魅力を発信していければと思います。



### 【発表の要旨】

- ・私たちはまず発信するものとして、大学周辺のものや観光名所、自然、米関連、かわいい女の子たちという5つのものを発信していこうと考えました。
- ・まず大学周辺について、新大生ということで周辺のことを知ってほしいと思い、県内の学生たちをターゲットとして、新潟大学周りに飲食店がいっぱいあるので、**巡るコースを組んで**、パンフレット等を作って**SNS**などで発信していく。観光名所としてはやすらぎ堤や万代橋がありますが、例えば、「おじさんが万代橋に一人たたずんで、夕日が沈むところを後ろから撮る」など、**インパクトのある写真を上手く撮って**発信していけばいいと思いました。
- ・自然としては釣りですが、学生は娯楽を求めていると思うので釣りを上手く使えればと思います。新潟大学付近にはレンタル自動車屋がいっぱいあるのでそういったところと提携して、シーサイドラインを通して上手く釣り場にアクセスが良くなるようにすればいいと思いました。  
「曇り空」も新潟の特徴だと思いますが、最近**自虐的なPRが流行**っているので、そういったのもうまくアピールしていけばいいと思う。
- ・米関連は魚沼の方かもしれないが、新潟市内にも酒蔵があるので、それをツアーやイベントと関連して発信していけばいいと思いました。  
かわいい女の子たちは、新潟の良さの一つでもあるので県外の人達に紙やSNSやテレビで発信する。あとはNGTの人達に1日ごとに交代で出してもらい、**YouTube上に毎日投稿して**発信していけばいいと思いました。



**【発表の要旨】**

- ・友達に伝えたい新潟市の魅力や発信方法について考えましたが、概ね今まで皆さんが発信した内容と同じです。その中でちょっと違うという視点が二つあって、音楽という魅力について、新潟にはライブハウスが多くて、音楽を若い世代から楽しめる環境が充実しているなど思いました。
- ・新潟にはライブハウスがいっぱいあり、全国的なバンドのツアーも新潟に回ってくるのがいいと思います。新潟駅前のライブハウスでは高校生だけのバンドが出演して、投票して戦う「**ハイスクールバイブス**」というイベントがあり、これは大学生版もあるんですが、若い世代から音楽が楽しめる環境があるのでこれをすごく推したいと思います。
- ・発信方法として出てきてないと思ったのが、イベントを活用する発信方法が効果的だと考えていて、新潟の魅力として各班も発表したように「食」が強いと思うので、それを発信するには大きなイベント、例えば**マラソン**を活用したり、食の陣や酒の陣をもっとパワーアップしていくとか、**県外の百貨店で新潟フェア**をやってもらうことで新潟の食や酒を推してもらうといいと思います。
- ・また、日本酒は有名だと思いますが、日本酒だけでPRしても弱いと思うので、たとえば南蛮エビとかノドグロとか色々なものを合わせて、コラボすることでより効果的にPRできると思います。



## ●参加者の「振り返りシート」からの意見（一部抜粋）

---

- ・魅力の発信というのは、観光客の集客力アップにも繋がり経済的効果も見込め、人口増加等の問題にも複雑に絡むことなので、どの地域でも熱心に考えなければならない課題だとも感じた。
- ・事前に渡された「市報にいがた」やその他の広報誌を見たことがなく、こんなに充実した内容が備わっているのに自分が知らなかったこと、自分のように知らない人がいるのはもったいないと思った。
- ・デバイス等の進化に伴い、情報の受け手となる私たち市民の情報の受け取り方、興味を持つきっかけというのも転じていくと思うので、市役所も今までのやり方に囚われず、新しい方法や手段に目を向けて欲しいし、臨機応変に取り組んでいくことが大切だと感じた。
- ・いろいろな場所でワークショップを行って実際に考えてもらうことも、市民に魅力を発信する一つの手段になるかも知れないと思った。
- ・新潟に住んで3年目になるが、発表を聞いて新潟市の魅力を再認識するとともに、まだまだ市には自分の知らない魅力があると実感した。親や友人が遊びに来た時に、正直どこを案内すれば良いか迷っていたのでとても良い機会になった。
- ・情報の発信方法を考える際、普段自分がどのような所から情報を得ていて、どのようにすれば受け取りやすいかを考えることは意外と難しいと思った。
- ・若者の意見ということで、多くの班から SNS やネットを使ったアイデアが出て興味深かった。
- ・「YouTube」を活用した広報活動は、若者にとってかなり有効だと思う。
- ・編入で入学してまだ2ヶ月しか経っていないが、今回のWSで新潟の魅力を知れた。京都に住んでいて、新潟のイメージは「米」しか出てこなかったが、今なら多くの場所を友達や家族に伝えることができると思う。
- ・新潟市には多くの魅力があることに気づいた。魅力をどのように発信すればよいか考えたときに、やはり SNS が一番有力であると分かった。